



■はじめに

本手順書では、AXIS P8221 I/O オーディオモジュールへ I/O 入力があったときに、Axis 製 PTZ ネットワークカメラを特定のプリセットポジションへ向けるための設定について説明しています。

■PTZ ネットワークカメラにプリセットポジションを登録する

AXIS P8221 に I/O 入力があった時に、PTZ ネットワークカメラを向ける位置を、「プリセットポジション」としてカメラへ登録します。

1. Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、PTZ ネットワークカメラの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. Live View ページ右上の「Setup」リンクをクリックします。
4. 「PTZ(または PTZ Configuration または Dome)」-「Preset Positions」をクリックします。
5. 表示された PTZ コントロールバーを利用して、プリセットポジションとして登録したい位置へ PTZ ネットワークカメラを向けて、ズームの状態を調整します。
6. 「Current Position」欄に、位置を登録する際の名前を任意で入力します(使用可能な文字は半角英数のみです。)
7. もしもこの位置をホームポジションに設定する場合は「Use current position as Home」にチェックを入れます。
8. 「Add」ボタンをクリックして位置を登録します。

① Preset Positions

①PTZコントロールバーで希望の位置へ移動

Current position: ②名前を指定
 position1
 ホームポジションにする場合はチェック
 Use current position as Home

③クリックしてポジションを追加

Available positions:
 test ▼
 Go to Remove

Playing, Motion JPEG

PAN Left Right
 ZOOM Wide Tele
 FOCUS Near Far
 IRIS Close Open

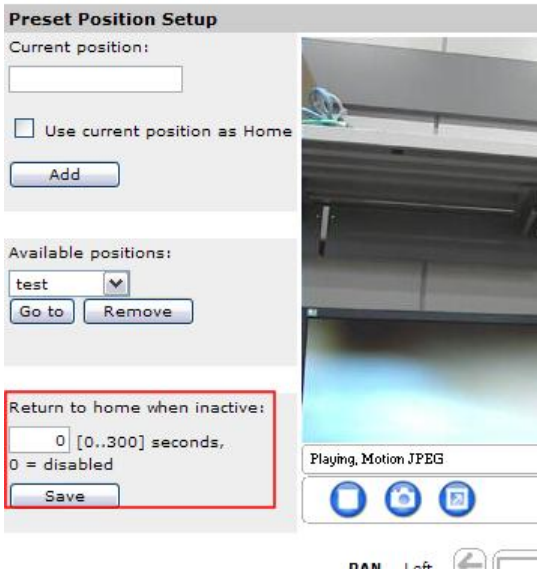
Up
 TILT
 Down
 Ctrl panel
 Start Auto Track

※参考: プリセットポジションへ移動後、指定した時間でホームポジションへ戻すには

ファームウェア v4.48 以降の PTZ ネットワークカメラでは、ホームポジションを登録してある場合、PTZ 動作でカメラの向きが変わったあと指定した時間でホームポジションへ自動的に戻るよう設定できます。

前述の手順でホームポジションを登録しますと、Preset Position 画面に「Return to home when inactive」というオプションが現れますので、PTZ 動作後ホームポジションへ戻るまでの時間を秒で指定してください。(デフォルトでは 0 が設定されており、機能は無効になっています。)

Preset Positions



■AXIS P8221 イベントサーバを登録する

I/O 入力発生時、AXIS P8221 から PTZ ネットワークカメラに対してプリセットポジション移動を実行するための HTTP コマンドを送信します。そのため、まず、AXIS P8221 に、送信先サーバとして PTZ ネットワークカメラの URL などを登録しておきます。

1. Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS P8221 の IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. Live View ページ右上の「Setup」リンクをクリックします。
4. 「Events」-「Event Servers」ページを開き、「Add HTTP」ボタンをクリックします。
5. 以下を設定します。
 - ・ Name・・・任意の名前 ※半角英数で入力してください。
 - ・ URL・・・http://PTZ ネットワークカメラの IP アドレス/axis-cgi/com/ptz.cgi
 - ・ User name・・・PTZ ネットワークカメラのユーザー名
 - ・ Password・・・PTZ ネットワークカメラのパスワード

(※このほかに、AXIS P8221 とお使いの AXIS PTZ ネットワークカメラの間にプロキシが存在する場合は、Proxy address、Proxy Port、Proxy user name、Proxy password を設定してください。)

Event Server Setup

HTTP Server http://PTZネットワークカメラのIPアドレス/axis-cgi/com/ptz.cgi

Name:

URL: http://192.168.70.89/axis-cgi/com

User name: PTZネットワークカメラの管理者ユーザー名 Password:

Proxy address: Proxy port:

Proxy user name: Proxy password:

Test

Test the connection to the specified HTTP server Test

OK Cancel

6. 「OK」をクリックしてウインドウを閉じます。

■AXIS P8221 にイベントを登録する

続いて、AXIS P8221 に、I/O 入力をトリガとして HTTP コマンドを送信するためのイベントを登録します。

1. 「Events」-「Event Types」ページを開き、「Add triggered」ボタンをクリックします。
2. 「General」で以下の項目を必要に応じて設定します。

Name

任意のイベント名を半角英数で設定します

Priority

AXIS P8221 内で実行されている全てのアプリケーションと、このイベントとの優先順位を設定します。通常は初期値のまま構いません。

Set min time interval between triggers

イベントを実行後、次のイベントを実行するまでにインターバルを設ける場合、時間を設定します（時・分・秒）。

General

Name: イベント名(任意: 半角英数)

Priority: 優先順位

Set min time interval between triggers: インターバル (max 23:59:59)

3. 「Respond to Trigger…」ではイベントを実行する時間帯を設定します。

Always

時間帯を指定せず常に実行する場合。

Only during time frame

特定の時間帯・曜日にイベントを実行したい場合。希望する曜日にチェックを入れ、「Start time」には開始時間、Duration には継続時間を設定します。

Never

このイベントを無効します。

Respond to Trigger...

Always 曜日・時間帯を指定せず常に

Only during time frame 曜日・時間帯を指定
 曜日 Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat
 Start time: 00:00 xx時から Duration: 24:00 xx時間後まで (max 168:00 hours)

Never (event type disabled) イベントを無効にする

4. 「Triggered by…」は「Input ports」を選択します。

次に、利用する入力ポート番号のプルダウンメニューから、ポートがどのようなステータスに変化した時にイベントを発生させるか指定します。

- Active・・・入力がアクティブになったとき
- Inactive・・・入力が非アクティブになったとき
- Change・・・入力のステータスが変わったとき(アクティブまたは非アクティブ)

Triggered by...

Input ports

Input 1 Input 2 Input 3 Input 4 Input 5 Input 6 Input 7 Input 8

5. 「When Triggered…」では「Send HTTP notification」を選択し、プルダウンメニューからコマンド送信先のイベントサーバ名を選択します。「Custom parameters」には、`gotoserverpresetname=プリセットポジション名` と入力します。

When Triggered...

Save stream

Send email notification

Send HTTP notification

Send to: PTZ camera

Custom parameters: `gotoserverpresetname=`

Message:

プリセットポジション名は、「Setup」-「PTZ(またはPTZ ConfigurationまたはDome)」-「Preset Positions」で確認できます。

Preset Positions

Preset Position Setup

Current position:

Use current position as Home

Add

Available positions:

test

Go to Remove

6. 「OK」をクリックしてウインドウを閉じます。

以上で製品内部の設定は全て終了です。

■参考：AXIS P8221のI/Oポートへスイッチを接続する

ここでは、電子部品販売店などで市販されている、リード線付き・押しボタンスイッチを利用した接続例をご紹介します。



1. リード線の先端の皮膜をカッターなどで剥きます。(リード線はひねっておくとコネクタへ接続しやすくなります。)



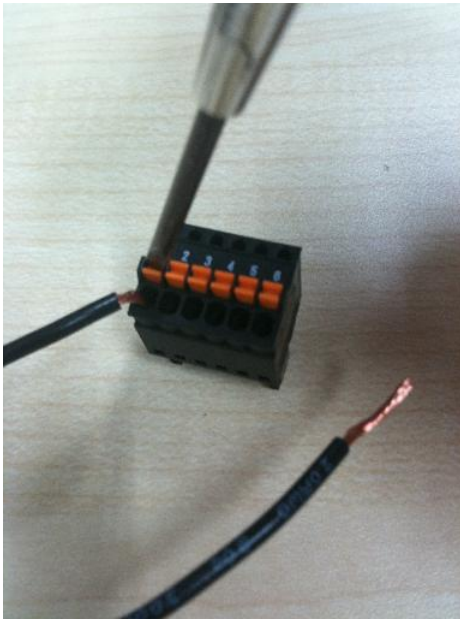
2. AXIS P8221に付属のI/Oターミナルコネクタへリード線を接続します。ターミナルコネクタのオレンジ色の部分をマイナドライバなどで押しながら穴にリード線を差し込みます。オレンジ色の部分を離すとリード線が固定されます。各ピンの仕様は以下のとおりです。

ピン1・・・グラウンド

コネクタAのピン3～6・・・入力の1～4

コネクタBのピン3～6・・・入力の5～8

例えば入力1のコントロールを行うためには、ピン1とピン3に押しボタンスイッチのリード線を接続します。



3. I/Oターミナルコネクタを、AXIS P8221の背面へ接続します。



以上

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2011 年 3 月現在のものです。

アクシスコミュニケーションズ株式会社

